

市議会 10月臨時会 報告

議長に、山口博敬さん

副議長に、段塚廣文さん を選出

議会運営委員会、常任委員会の委員 選任のほか、鳥取中部ふるさと広域連合議会議員などを選出

平成十七年十月第七回倉吉市議会臨時会が、十月二十四日(月)・二十五日(火)に開かれ、議長に山口博敬さん、副議長に段塚廣文さんを選出。倉吉市議会の議会運営委員会、常任委員会の委員を選任したほか、鳥取中部ふるさと広域連合議会議員など各種委員を選出、議会選出監査委員の選任が同意されました。

なお、倉吉市議会会議録(質問、答弁など)は、各地区公民館、人権文化センター及び同支所、市立図書館及び市立せきがね図書館、市役所二階市民と市長のふれあいコーナーなどで、十二月下旬からご覧になれます。

■議案

【同意 一件】

●監査委員の選任について

■選挙

【投票 二件】

●倉吉市議会議長選挙について

●倉吉市議会副議長選挙について

【指名推選 一件】

●鳥取中部ふるさと広域連合議会議員の選挙について

■議会発議

【選任 二件】

●倉吉市議会議会運営委員会委員の選任について

●倉吉市議会常任委員会委員の選任について

【議長指名 一件】

●倉吉市農業委員会委員の推薦について

●倉吉市農業委員会委員の推薦について

【市議会議長】山口博敬

【市議会副議長】段塚廣文

【議会運営委員会】(七人) (任期：十月二十五日から)

委員長：高田周儀 副委員長：伊藤正三

委員：金光隆 谷本修一 土井秀人 中野隆 由田隆

【常任委員会】(任期：十月二十五日から)

総務経済常任委員会 (七人)

委員長：佐々木敬敏 副委員長：杉山慶次

委員：瀬尾学 段塚廣文 土井秀人 福井康夫 丸田克孝

建設企画常任委員会 (七人)

委員長：中野隆 副委員長：福谷直美

委員：石田政彦 伊藤正三 坂井徹 鳥飼幹男 山口博敬

教育民生常任委員会 (七人)

委員長：金光隆 副委員長：朝日等治

委員：川部洋 佐藤博英 高田周儀 谷本修一 由田隆

【監査委員】(一人) 瀬尾学

【鳥取中部ふるさと広域連合議会議員】(七人)

坂井徹 谷本修一 鳥飼幹男 中野隆

福井康夫 山口博敬 由田隆

【倉吉市農業委員会委員】(三人)

瀬尾扇子 石田政彦 佐々木敬敏

「市報くらよし」有料広告募集！

広報誌「市報くらよし」は、4月15日号より、市民のみなさんから有料広告を募集しています。

＜掲載広告の要件は＞

- (1) 市内での産業の発展と市民生活の向上に役立つものであること。
- (2) 市報くらよしの公共性およびその品位を損なうおそれのないものであること。
- (3) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条に規定する風俗営業及び性風俗関連特殊営業等に該当しないものであること。
- (4) 公の秩序および善良な風俗に反しないものであること。

＜広告の位置、大きさや色は＞

広告を掲載する位置は、市報くらよしの表紙、裏表紙を除く、お知らせページの下1段(約縦5cm×横18cm)とします。

- ① 1号広告 (縦5cm×18cm)
- ② 2号広告 (縦5cm×9cm)
- ③ 3号広告 (縦5cm×6cm)

色は、黒■とシアン■の2色です。

＜広告の掲載料(料金)は＞(1回あたり)

- ① 1号広告 30,000円
- ② 2号広告 15,000円
- ③ 3号広告 10,000円

広告掲載料は原則、まとめて前納です。

＜広告のデザインとデザイン代(作成費用)は＞

広告のデザインの作成については、申込者(広告主)の責任で作成してください。また、そのデザイン代(作成費用)についても広告主の負担です。

＜申し込み期限は＞

各号発行日(1日と15日)のそれぞれ20日前までに、市役所備え付けの「市報くらよし広告掲載申込書」に掲載しようとする版下(完全なデザインができた原稿)を添えて、秘書広報課へ提出してください。なお、内容によっては、掲載できない場合もありますので、事前にどのような内容かを、電話、FAX、メールなどで、お問い合わせください。

※申込・問い合わせ先：秘書広報課 ☎22-8160/ FAX 22-8144

E-mail: hisho@city.kurayoshi.tottori.jp

ハート・パリアフリー

倉吉市人権文化センター

☎ 22-4768/ ☎ 22-4901

No. 14

「倉吉市落書きの防止に関する条例」が制定

平成17年市議会9月定例会で「倉吉市落書きの防止に関する条例」が可決され、11月1日から施行されました。

豊かな自然と美しい景観に囲まれたあたたかく、住みよい吉倉市のまちづくりを、市民一人ひとりの努力によって進めていきたいと思います。

なぜ条例ができたのか

平成14年3月に「県立倉吉未来中心」の公衆トイレ、同年5月には「倉吉ほっとプラザ」、昨年はJR倉吉駅構内、市の児童公園のトイレなど、相次いで6件の差別落書きが発見されました。落書きはそれ自体が社会的に許されない行為であるとともに、一度行われると連鎖的に行われるようになります。

落書きは、私たちの快適な生活環境の確保に対して重大な障害となる行為であり、特に差別落書きは、それを見た人に新たな差別意識を植え付けたり、差別意識を助長したりするなど、その影響は極めて大きいものがあります。

倉吉市では、いかなる落書きも社会的に許されない行為であることを明確にし、快適で住みよい環境を守り、人権尊重のまちづくりに貢献することを目的とした「倉吉市落書きの防止に関する条例」

を制定しました。

条例の主な内容

- ◆「落書き」とは、正当な理由なく他人の施設に文字、図形もしくは模様をかくことをいいます。
- ◆何人も、落書きを行ってはけません。
- ◆市は、落書きの防止に関する啓発その他必要な施策の実施に努めます。
- ◆土地、建物などの所有者は、落書きが放置されているため、地域の美観を著しく損なう状態にあるときは、落書きを消去し、現状の回復を図るよう努めます。
- ◆市長は、落書きを行った者に対して、落書きの消去やその他必要な措置を行うよう勧告し、命令することができます。
- ◆特に市の施設について、市は落書きを行った者が判明したときは消去を命じ、これに従わない場合は氏名などを公表でき、また市が代わりに消去したときはその費用を請求することができます。

条例制定に対する感想

倉吉市同和問題企業連絡会新入社員研修会から

い場合は氏名などを公表でき、また市が代わりに消去したときはその費用を請求することができます。

◆落書き防止に関する条例について、そういう身近な所から防止していき、他の同和問題やその他の問題の解決もしていけるようにと思っています。

◆条例の制定は良いことだと思います。以前に比べて「落書き」というものは少なくなり、公共施設などもきれいになってきたと思います。その美しい公共の物に落書きをするという行為はやはり悪意があるもの、個人的には思っています。

◆家庭や学校、社会にとって、徐々にいい社会ができればいいと思う。だから条例を定めることはよいと思う。これからも同和・人権問題に熱心な市であってほしいと思う。

住みよいまちづくりをめざして

落書きは市民一人ひとりの自觉によってなくすことができます。落書きの背景には、「落書き」

を容認している社会の存在があります。

私たち一人ひとりが「落書きをしない、させない、許さない」という意識づくりを広げることが落書きの防止につながります。

条例は、美しい倉吉市の景観を守るために制定されたものであって、罰則を設けるためではありません。快適で住みよい環境と、人権尊重のまちづくりを、この条例の制定をきっかけに市民みんなで行いましょう。

※問い合わせ先

人権政策課 (☎ 22-4891) / ☎ 22-4901

水上 勉 作

〔演劇〕 釈迦内枢唄 (しゃかないひつぎうた)

劇団 希望舞台

日時: 12月2日 (金) 開演 午後6時30分

場所: 倉吉未来中心大ホール

入場料: 前売り 2,000円 当日 2,500円

チケット取り扱い: 倉吉未来中心事務局ほか

主催: 「釈迦内枢唄」を観る会

後援: 倉吉市仏教会・倉吉市・倉吉市教育委員会ほか

※問い合わせ先: 満正寺 (☎ 22-3468)

火葬場を営む家族をとおして、真の勇氣と真心を問い続ける人間賛歌が「釈迦内枢唄」です。

平成17年度倉吉市表彰

11月1日(火)、倉吉市関金総合文化センターで、平成17年度倉吉市表彰式が行われました。この表彰式は、長年にわたり地方自治の振興に貢献された人、倉吉市に多額の金品をご寄付いただいた人などを対象とした「功勞表彰」と、各分野で長年ご活躍をいただき、市の発展に多大な功績のある人を対象にした「善行表彰」が行われました。各表彰者は、次の人です。

功勞表彰

◆倉吉市表彰条例第三条第二号表彰者

(長年、地方自治の振興に貢献)

◆竹田哲男さん

◆倉吉市表彰条例第三条第五号表彰者

(倉吉博物館へ屏風を寄附)

◆天野道磨さん

(市道用地寄付)

◆筏津栄俊さん ◆深田典宏さん

◆涌嶋巴さん・涌嶋達郎さん

◆長坂公民館代表者 吉田勤さん

(市内各所へ桜の寄附及び植樹)

◆有限会社辰巳園 代表取締役

加藤一巴さん

善行表彰

◆倉吉市表彰条例第五条第四号表彰者

(自治公民館長として地方自治の振興に貢献)

◆小谷欣之輔さん ◆豊嶋潤さん

◆中井正直さん ◆山口文雄さん

(固定資産地区評価補助員として、地方自治の振興に貢献)

◆澤幸憲さん ◆吉田定雄さん

(農業委員会委員として、地方自治の振興に貢献)

◆桑田義臣さん

(土蔵を寄附)

◆伊藤一枝さん ◆梶井英治さん

◆高見博さん ◆永井美佐恵さん

◆山本利景さん ◆涌嶋俊作さん

(土蔵を寄附)

の増進に貢献)

◆河本一男さん ◆岸本岩男さん

◆鳥飼榮さん ◆福井兼義さん

(民生児童委員として、社会福祉の増進に貢献)

◆伊藤純子さん ◆小林春香さん

◆毛利和子さん ◆森時子さん

(私立保育園長として、社会福祉事業の振興発展に貢献)

◆齋江博行さん ◆藤本澄恵さん

(文化団体の代表として、芸術・文化の振興発展に貢献)

◆牧田実夫さん

(学校医として児童生徒の保健衛生の向上に貢献)

◆大石一康さん ◆尾西賢治さん

(地区公民館主事として、社会教育の振興に貢献)

◆小林芳美さん

(倉吉市表彰条例第五条第五号表彰者)

(市道用地を寄附)

◆伊藤一枝さん ◆梶井英治さん

◆高見博さん ◆永井美佐恵さん

◆山本利景さん ◆涌嶋俊作さん

(土蔵を寄附)

◆桑田義臣さん

(土蔵を寄附)

◆田熊誠さん

(旧牧田家建物保存対策支援基金を寄附)

◆富盛清志さん

(明倫小学校へ机・椅子・フアクシミリを寄附)

◆永田武さん

(倉吉博物館資料整備基金を寄附)

◆松嶋あつ子さん

(倉吉博物館資料整備基金を寄附)

◆小嶋小学校へ校旗を寄附)

◆吉田恵彦さん

(道路敷地を寄附)

◆株式会社倉吉管財 代表取締役

下田顕久さん

(西郷小学校へブランコの寄附及び遊具整備の寄附)

◆倉吉市立西郷小学校教育振興会

会長 河村和幸さん

(市立図書館へ図書カードを寄附)

◆国際ソロプチミスト倉吉 会長

岡本由起子さん

(市立図書館へ図書カードを寄附)



▲功勞表彰を受賞された
旧関金町長 竹田哲男さん

せきがね図書館 こーな

●秋の夜長は読書とともに

「秋」といえば何を思い出しますか？紅葉？食欲？

秋になると夜が早くやってきて、家で余暇を過ごす時間が増えるような気がします。そんな素敵な時間を読書で過ごしてみませんか？

せきがね図書館では、読書の秋にお薦めの本をご紹介します。ぜひご利用ください。

せきがね図書館 ☎45・2523



関金町明高、主要地方道江府溝口線沿いにある「水車の郷 体験工房」は、地元住民が営む手打ちそばのお食事どころ・そば打ちの体験施設です。

明高地区では「夢づくりおもしろ倶楽部」を組織し、平成10年12月、体験工房をオープンさせました。地

元で栽培し、水車を使って粉にしたそば粉を使っています。オープンから7年。今でもたくさんの方が訪れ、地元のそば打ち職人も、かなりの腕前です。



▲地元の人が作る打ちたてのそば

また昨年、田園空間博物館事業で、水車、駐車場や休憩所が新しく整備されています。

明高のそば打ち名人が作る、打ちたてのそばは、予約なしでいただけます。営業日は日曜日。予約をして、そば打ちにもチャレンジしましょう。

■水車の郷体験工房

住所：倉吉市関金町明高11662

☎ 45-1128 (体験工房)

☎ 45-2208 (大江文雄)

開館日：日曜日のみ営業(平日は応相談)
そば打ち体験：1日2回(10時、14時)
*要予約

水車の郷体験工房

新そばまつり



と き：11月27日(日) 10:00～14:00
と ころ：水車の郷体験工房(関金町明高)

【石臼挽きそば打ち体験コーナー】

石臼で新そばをひいて、そば打ち体験ができます。

時 間：9:30、10:30、11:30～(各10人)

参加費：1人1,000円

*11/25までに電話予約で受付

予約電話番号：☎ 45-1128 または

☎ 45-2208(大江)

- ◆当日食事をされた人に空クジなしの抽選あり
 - ◆そばもちぜんざい無料サービス
きねつきもちの実演(11時～、12時～の2回各先着50人、お1人1杯限り)
 - ◆玄米もち販売 2個入り100円
(午前10時～先着40人限り)
 - ◆手作り豆腐販売(湯豆腐の試食もあります)
 - ◆地元農産物販売
 - ◆加工品販売
- 主 催：水車の郷体験工房 石臼の会
共 催：明高(みょうこう)自治公民館
関金町明高(☎/☎ 45-1128)



姉妹都市 ナジユ フアチョン
羅州・華川便り⑧

国際交流員 韓召眞

浣紗泉(ワンサチョン)환사천

羅州市役所の前には浣紗泉という小さい泉がありますが、この泉には約千年前から伝わる柳にまつわるある娘の伝説があります。「柳に娘」といえば、何か怖い感じがしますが、話の内容はとてもロマンチックです。

いるときに急いで水を飲むと、水がのどに詰まるので、ゆっくり飲まれますように」と答えました。

王建はダリヨンの知恵と美ほろを見初め、求婚し、ダリオンは莊和皇后となりました。そして、王建と莊和皇后の間に生まれた息子は、高麗の2代目の王様となります。

ロマンチックな話ですね

朝鮮半島には九一八年から約五百年の間、高麗という国がありました。高麗初の王様は王建(ワンゴン)ですが、浣紗泉の伝説は、王建が九一四年に後百済を攻撃するために羅州へ出向いた時代にさかのぼります。



浣紗泉のそばにある王建・ダリヨンの銅像と私